

2024

IMPACT REPORT

 ねこから目線。

ねこから目線株式会社 第3期 2023/9~2024/8



ねこから目線株式会社 第3期 2023年9月～2024年8月
インパクトレポート

もくじ

- 1 ねこから目線。とは ...P.3
- 2 ねこから目線。の歩み ...P.4
- 3 日本の猫問題の現状 ...P.5
- 4 殺処分に至る問題の構造 ...P.6
- 5 ねこから目線。のサービス ...P.7
- 6 主要サービス報告 ...P.8~13
- 7 その他取り組みの紹介 ...P.14~17
- 8 メディア掲載 ...P.18



ねこから目線。とは

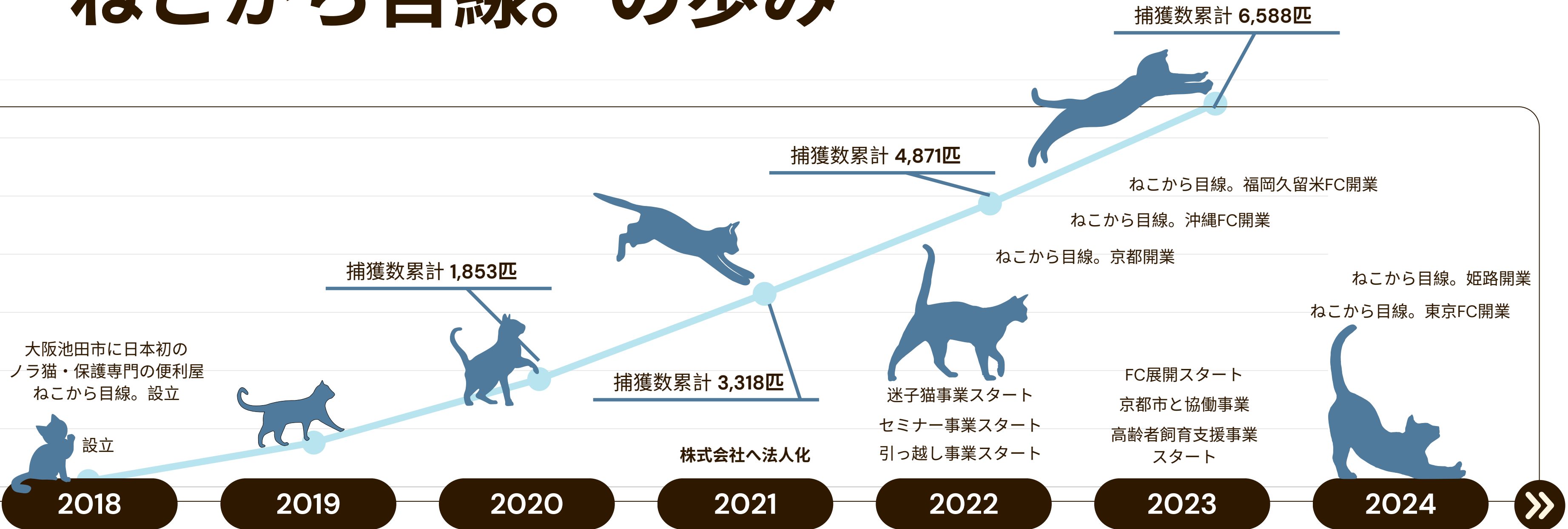
ノラ猫・保護猫専門のお手伝い屋さん

「ねこから目線。」は、猫の殺処分ゼロを目指し、2018年に設立された「ノラ猫・保護猫専門のお手伝い屋さん」です。間接的にでも猫にメリットがあると考えられることであれば、なんでもお手伝いしてきました。2021年に株式会社に法人化してからも、課題解決のために必要だと説明できるサービスのみを事業化しています。

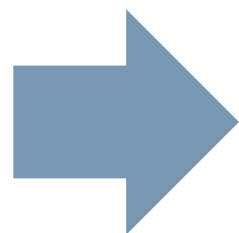
保護猫活動がすべてボランティア任せにならず、きちんとした社会システムの中で機能する社会企業となることで、ボランティアの負担軽減と保護活動のスピードアップと充実を図りたいと考えています。

個人、町会、行政機関、NPOや企業など、様々な立場の方々と連携しながら、日々模索と活動を続けています。

ねこから目線。の歩み



ノラ猫と保護猫専門の便利屋として、保護猫活動をする方々の“手段”に徹することを意識していた3年間。受け身ではあったが、24時間365日体制で精一杯依頼に対応し続けた。



見えてきた殺処分に至る様々な背景と対応ニーズ。法人化を機に攻めの姿勢に転換し、問題の深刻化を未然に防ぐために必要だと説明できる打ち手をサービスを事業化しリリースしていった。

日本の猫問題の現状

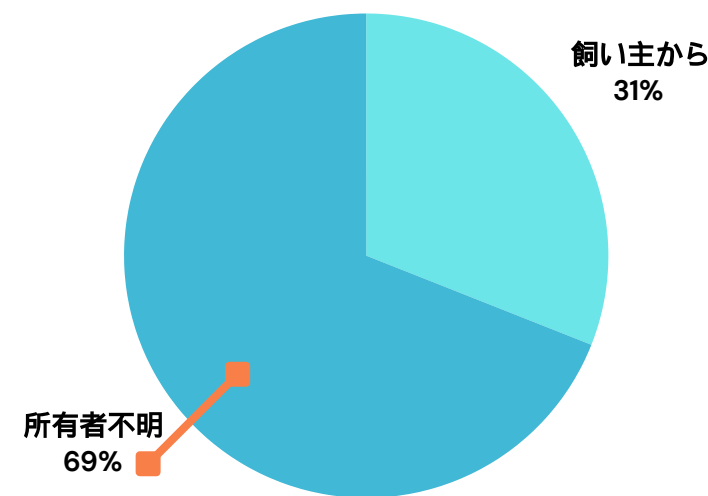
現状

一般社団法人ペットフード協会の調べによると、国内で飼育されている猫の頭数は推定907万匹（2023年）。空前の猫ブームと言われるその一方で、年間約1万匹、1日あたり25匹を超える猫が殺処分されている現状があります。

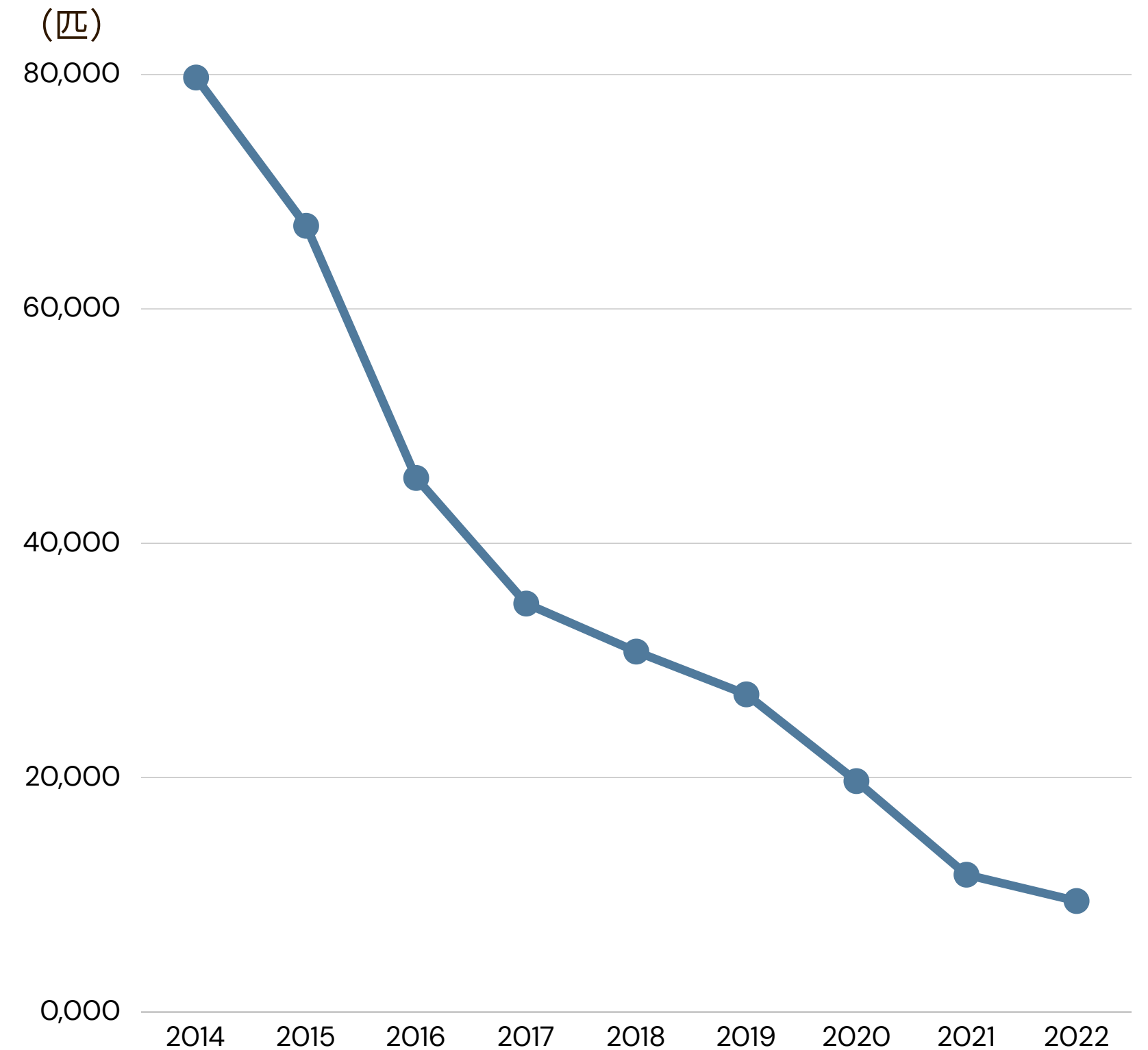
猫の殺処分数は減少傾向にあり、2022年の猫の殺処分数は9,472匹と、初めて10,000匹を下回りました。しかし、減少傾向とは言っても10,000匹近い猫が年間で殺処分されていることは、看過できない状況であると考えます。

課題

環境省が発表している、全国の自治体の収容頭数と殺処分数の内訳を集計すると、保健所に収容される猫のうち、**69%**が所有者不明のノラ猫です。殺処分を無くしていくためには、ノラ猫に対する効果的なアプローチが必要です。



全国の猫の殺処分数の推移



出典：環境省統計資料「犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況」

殺処分に至る問題の構造

人と動物の共生センター蛇口モデルより

ノラ猫 —— 高い繁殖能力による屋外での過剰繁殖

飼い猫 —— 飼い主の高齢化による飼育放棄

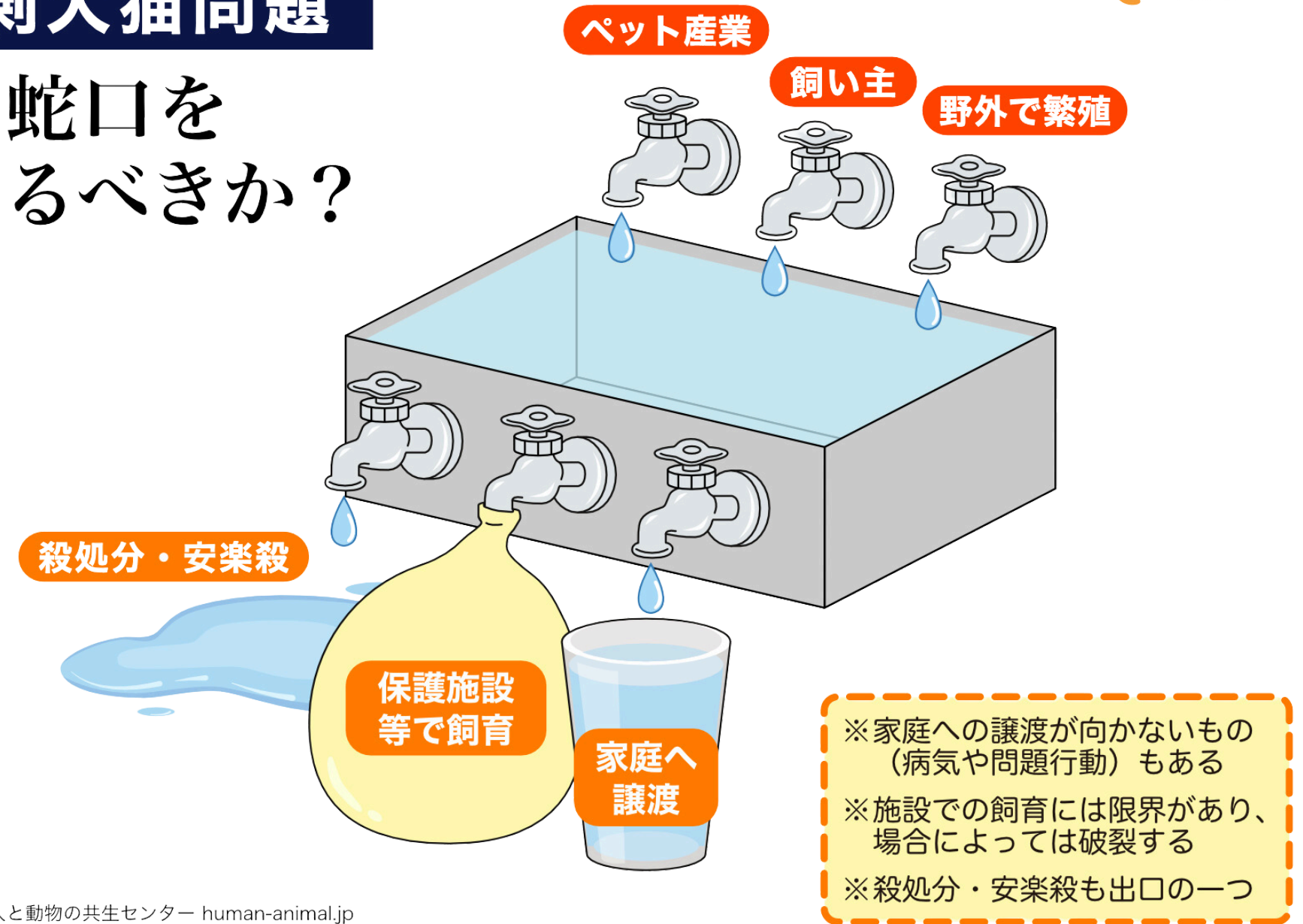
ペット産業 —— むやみな繁殖・高齢者への子猫販売

行政施設でも保護譲渡活動を行っていますが、施設や人手に限界があるため、収容頭数の限界を超えた場合や、傷病や攻撃性の問題で対応困難と判断されると殺処分になってしまいます。

殺処分を無くしていく為には、保護や譲渡の受け皿拡充も大切ですが、まずは問題を生み出している蛇口を閉める“予防事業”が重要だと考え、ねこから目線。のサービス設計を行っています。

余剰犬猫問題

どの蛇口を閉めるべきか？



ねこから目線。 のサービス

猫の殺処分ゼロの達成・維持には
複合的なアプローチが重要

ノラ猫へのアプローチ

殺処分を無くしていく為
に現時点は最も必要な
予防事業

TNRサポート

ノラ猫に対する捕獲と不
妊手術のサポート事業

捕獲器開発

世界一猫に優しい捕獲器
の開発と販売事業

社会へのアプローチ

セミナー主催講師派遣
虐待レスキュー事業
調査研究事業

保護猫へのアプローチ

保護された猫に飼い猫に
なる道を作っていく事業

保護猫の譲渡事業

保護された猫をケアし
里親につなげていく事業

シェルター運営

行き場の無い保護猫や
ノラ猫の一時保護事業

飼い猫へのアプローチ

飼い猫がそもそもノラ猫
や保護猫にならないよう
に、先手を打つ予防事業

保護猫のケア支援

人馴れしていない飼い猫
の爪切りなどお世話支援

飼い続ける支援

猫を飼育する高齢者への
飼育支援と見守り事業

迷子猫搜索

迷子になってしまった
飼い猫の搜索捕獲支援

TNRサポート

ノラ猫さんの捕獲と不妊手術のサポート事業

1,230匹

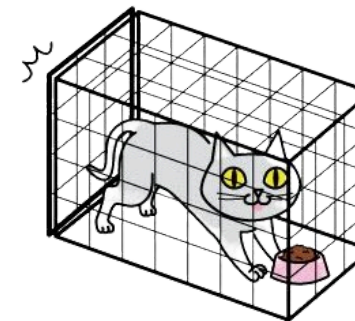
(2023年9月～2024年8月末)

「ご飯をあげているノラ猫さんの不妊手術をしたい」という相談に応じてノラ猫さんの捕獲から、動物病院への予約送迎、リターンまでトータルサポート

ねこから目線。と一緒にやるTNR

今期は597名の方がねこから目線。を利用し、述べ1,230匹のノラ猫さんにTNRを実施していただきました!

Trap
捕獲して



Neuter
不妊・去勢手術をして
耳をカット



Return
元の場所に戻す



レスキュー 保護捕獲対応

262匹

ねこから目線。では、保護譲渡や治療目的の捕獲対応や、緊急のレスキュー対応も行っています。今期は262匹の保護のための捕獲対応を行いました。

PICKUP CASE

写真の猫さんは畑で園芸ネットに絡まって身動きが取れなくなっていました。畑の所有者の方から相談を受け、保護し動物病院への搬送し、ネットの除去と怪我のチェックと去勢手術を実施しました。虐待やレスキュー案件の場合は、「お釣りは猫に使ってね基金」が医療費や出張費を捻出しました。

お釣りは猫に使ってね基金とは

お客様が「お釣りは要らないから猫に使って」と多めにくださったとき、そのお金をプールしておいて、治療が必要な猫にカンパする仕組みです。

行き場のない保護猫さんに家族を見つける活動をしています

里親譲渡 49 匹



PICKUP CASE

生後2カ月の小さな体で、車に轢かれてしまった子猫が居ると相談を受けてレスキューに向かった子猫さん。後ろ足の内側が大きく引き裂けており、一刻を争う状況でした。動物病院で20糸近く縫う緊急手術乗り越え、素敵な里親さんと巡り会うことができました！



迷子猫搜索

代わりに搜索・捕獲プラン 成功頭数



解決率

迷子になってから	
24時間以内の依頼	94%
2～4日の依頼	82%
5日以上の依頼	69%
平均解決率	84%

151匹

家から脱走してしまった飼い猫さんの搜索から捕獲まで、成功報酬型で対応しています。

飼い「続ける」支援

猫さんと暮らしている少しでも長く、安心して猫と暮らし続けられることを目的としたペットのホームヘルパーサービスを実施しています。ねこから目線。のペットヘルパーが月1回の定期訪問をすることで、飼い主さんと一緒に猫さんのプロフィールを把握し、いざという時に備えます。

飼い「始める」支援

これから猫を飼い始めたいと考えているものの、自分の年齢を考えると少し不安がある方も安心して猫を飼うことができるように、ねこから目線。が提携保護団体から、譲渡対象の猫さんを紹介させていただくサービスです。ペットヘルパーのご利用が条件ですが、いざという時の引取り保証も完備。

高齢者と猫が安心して暮らし続けるためのお手伝い

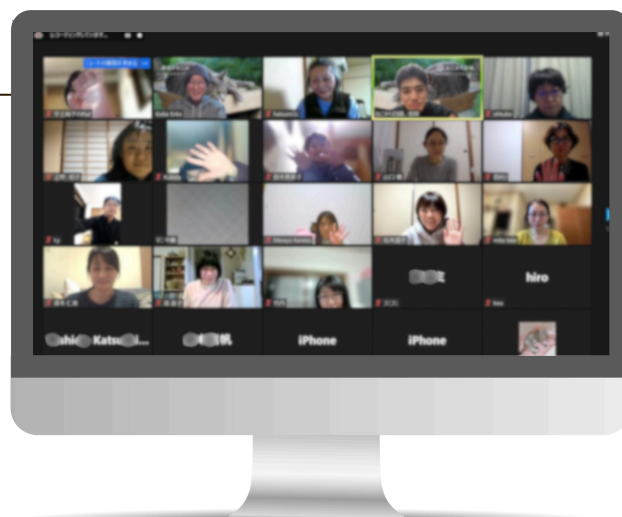
見守り頭数 15匹

セミナー・勉強会

皆で取り組む為に、啓発やスキルアップ講座を開催しました。

主催セミナー

- 「最近あった珍しい現場事例とその対応・解説」
- 「猫問題入門講座」
- 「藤久流 室内捕獲徹底解説」
- 「愛猫を守るための有効な遺言書作成のポイント」
- 「保護猫活動におけるトラブルと法的な予防策」
- 「検疫期間に気を付けること。譲渡までに必要な医療ケアと実施時期」
- 「猫のエイズと白血病。お世話の注意点や検査キットの信憑性」
- 「猫が喜ぶDIY&自然素材の重要性」
- 「外ネコさんによくある病気」
- 「ペットの信託」



講師派遣

TNRの為の猫に優しい捕獲講座

- 大阪市職員研修
- 京都市職員研修
- 横浜市動物愛護センター動物愛護推進員研修
- 横浜市栄区役所市民向けセミナー

TNRと地域猫の理論と実践講座

- 大阪公立大学 人☆ねこサークル勉強会
- 立命館大学 Rits Cat勉強会
- 京都動物愛護センター：ボランティア研修

参加者数

859



全国への展開

共感してくれる仲間と拠点を増し
各地の相談に対応したい

殺処分ゼロを達成するためには、活動範囲を全国に広げる必要があります。猫の活動は地域色が強く、物理的な移動を伴います。そのため、ねこから目線のビジョンに共感いただく全国の方に、その地域でねこから目線。を開業いただく、フランチャイズ方式での展開を進めています。

ねこから目線。東京

2024年8月フランチャイズ店としてスタート
オーナー：株式会社ネコリパブリック

ねこから目線。福岡久留米

2023年10月フランチャイズ店としてスタート
オーナー：なぎ犬猫ワクチン往診所

ねこから目線。沖縄

2023年5月フランチャイズ1号店としてスタート



動物虐待への対応

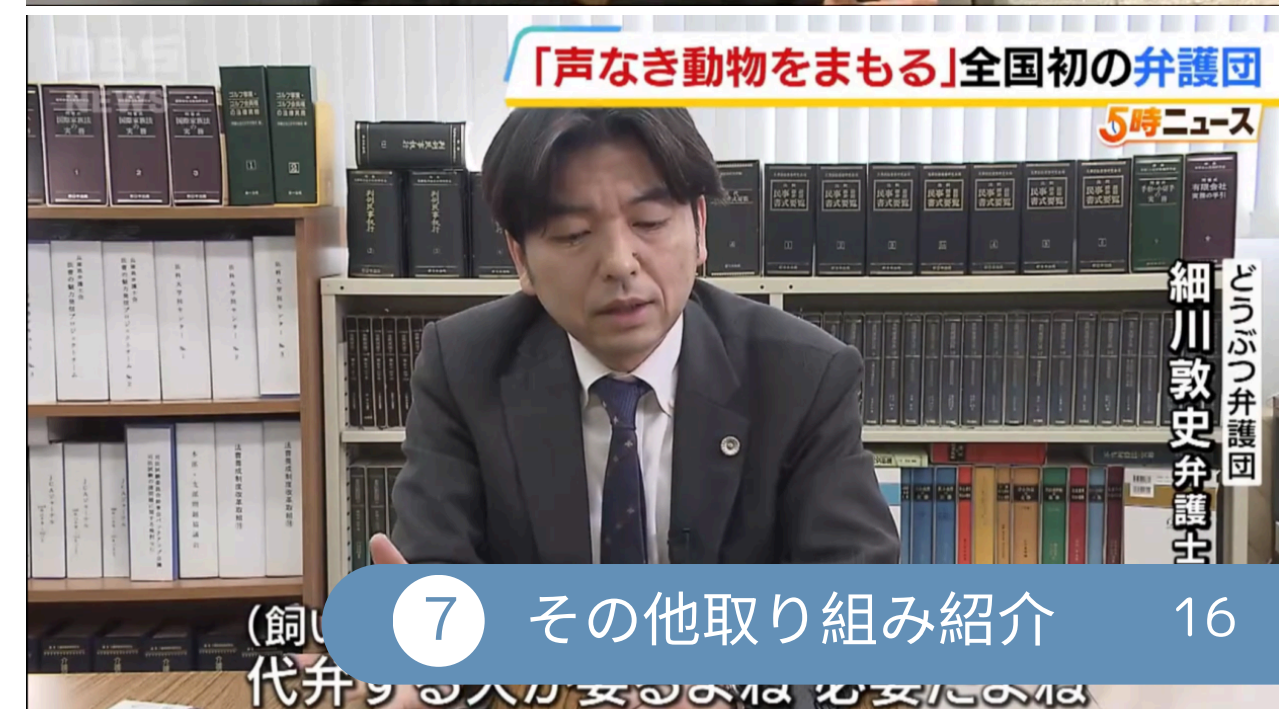
どうぶつ弁護団との協働で犯人スピード逮捕

2023年の年末に「ノラ猫に吹き矢のような物が刺さっている」とボランティアさんから相談を受けました。ねこから目線。ではすぐに警察への通報を行い、現場へ向かいました。現場では被害に遭ったノラ猫さんを複数人で追いかけてまわし、行方不明にさせてしまっている状態でした。

警察やボランティアさんたちに、捕獲に関しては任せてほしい旨を伝え、数日かけて保護捕獲をねこから目線。にて対応しました。保護できたノラ猫さんは、すぐに動物病院に搬送し、刺さっている物の除去と治療、診断書の作成を実施していただきました。刺さっていた釘状の物は証拠品として警察へ提出、併せてどうぶつ弁護団の虐待情報提供窓口への通報を行いました。情報提供を受け、どうぶつ弁護団がすぐに警察へ告発。犯人のスピード逮捕につながりました。

被害に遭った猫さんは、はじめに相談してくださった餌やりボランティアさんが、ペット可マンションに引っ越しまでして、飼い猫として迎えてくださいました。

動物虐待事件は、証拠の保全と被害にあった動物の速やかな保護がとても重要です。動物虐待案件には、ねこから目線。は被害に遭った猫の捕獲対応、どうぶつ弁護団との連携を無償で行っています。



大規模施設の ノラ猫管理業務

相談内容と対応

大阪市内の大規模商業施設より、「地下駐車場とゴミ庫エリアにノラ猫が住み着いており、定期的な糞尿の清掃費用が膨大になっている」と相談がありました。

ねこから目線。ではまず猫の頭数が実際どの程度いるのか調査を行い、そのうえで大阪府が実施している「まちなこ事業」をベースとしたノラ猫管理を提案し、対策の業務委託契約を結びました。

具体的には、住み着いている12匹のノラ猫さん全頭へのTNRを実施し、猫トイレと餌場を設置し、日々の管理を行いました。結果、糞尿の苦情は大幅に減少しました。

大阪府で初

大阪府が実施している「まちなこ事業」は住宅地でのノラ猫対策を想定したものでしたが、大型商業施設に応用した取り組みとして認められ、まちなこ事業登録をすることができました。



ゴミを食料としていたノラ猫さんたち



給餌をすることでゴミ漁り防止と
個体管理、捕獲率向上に。



猫トイレを設置し
糞尿被害をコントロール

世界でいちばん 猫にやさしい捕獲器開発

あらゆる捕獲器に指を挟んでみた代表が考案する、猫に優しい捕獲器

こだわりを詰め込みました

捕獲器を使って猫を捕獲する際、猫が踏み板の角で怪我をしたり、落ちてきた扉に足を挟んでしまったりすることが多々あります。ねこから目線。では、捕獲の際の猫の怪我や精神的なショックを最大限に減らすため、世界一猫に優しい捕獲器の開発を新潟の燕三条の職人さんたちと進めています。基本となる機構は完成しており、現在量産化に向けた準備を進めております。

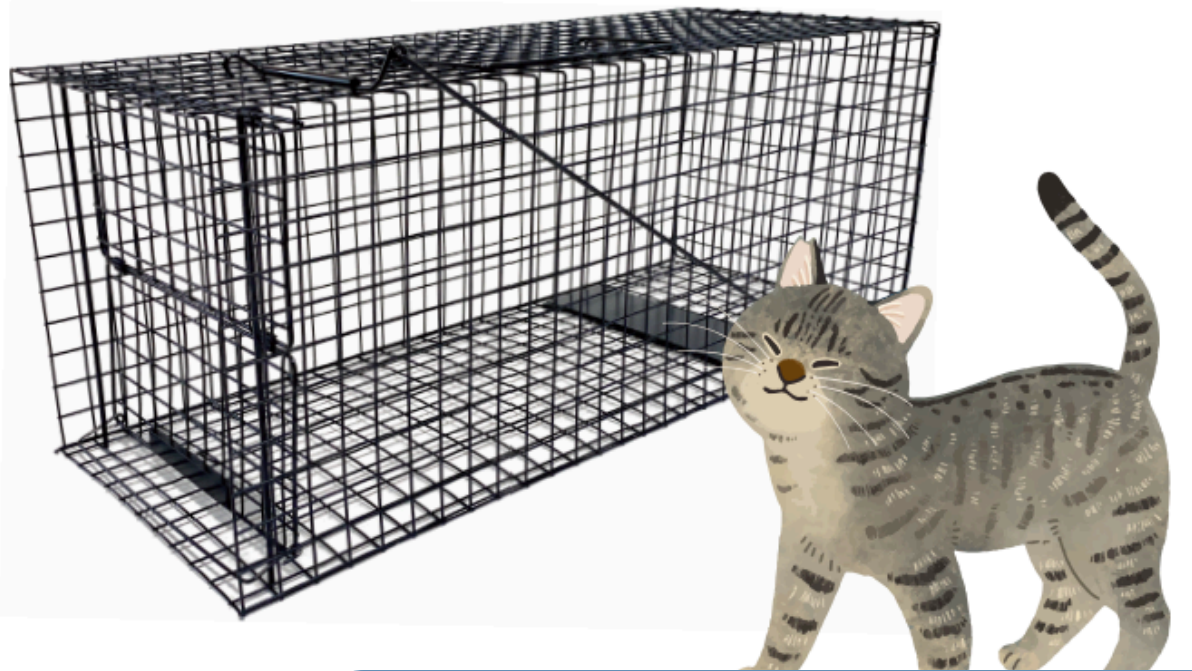


実際に使用している様子。
扉の仕組みは実用新案登録の準備中

世界でいちばん猫にやさしい捕獲器

はじめまして、
日本製の捕獲器
トラスケです。

年間1500匹の猫の捕獲に対応しているスタッフが
とにかく猫の負担を減らしたい！という想いで開発しました。





メディア掲載

▲産経新聞夕刊で月1回の連載が始まりました。タイトル「ねこから目線。の現場から」

新聞

- 新聞掲載 14回
- 産経新聞
 - 朝日新聞

テレビ

- テレビ放送 4回
- 関テレNEWS
 - テレビ大阪
 - NHK
 - ニュースLINE! ゆう5時
 - BS朝日
 - ネコいぬワイドショー

WEBメディア

- WEB記事 8回
- まいどなニュース

① ねこから目線。

thank you